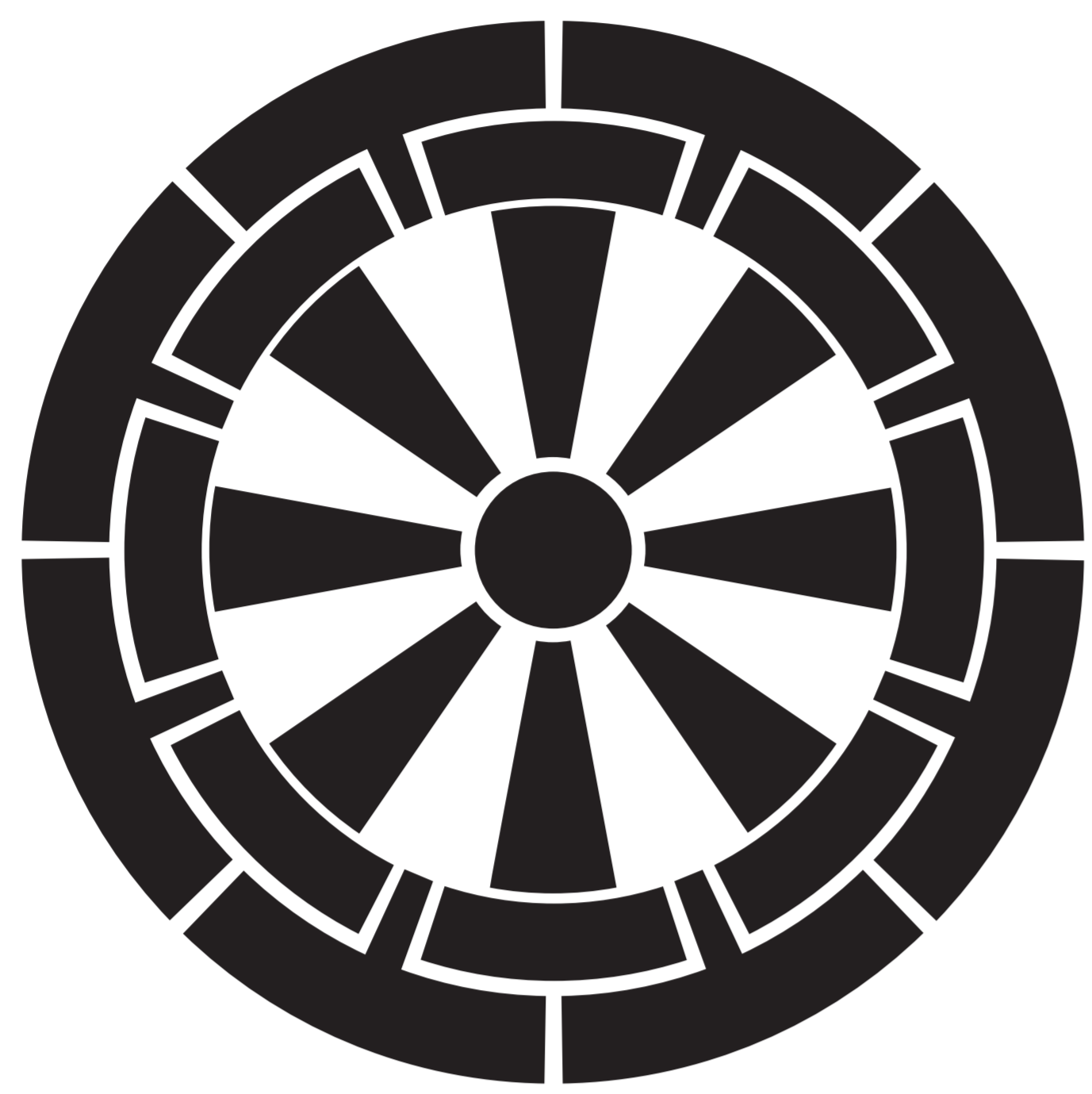


車くるま神社の由来

全国に二社しかない神社名で、現在の祭神は日本武尊やまとたけるのみことです。創建そうけんは不明ですが、天正十一年てんしょう（一五八三年）の棟札むなふだが残されており、かつては車大明神くるまだいみょうじんぐうとか車大明神くるまだいみょうじんと呼ばれていました。天正より以前は不明ですが、村の成立と共に守護神、産土神うぶすながみとしてまつられてきたのです。その頃の祭神は大日靈尊おおひるめのみこと（太陽神）でした。

明治維新の神仏分離令しんぶつぶんりれいにより祭神と神社名が現在のようになりましたが、それ以前は神仏の両方を取り入れた神社でした。社紋しゃもんの車輪は神道しんどうの太陽神、仏教の宝輪ほうりんを意味するとされています。祭神の大日靈尊おおひるめのみことは、馬車で天をかける日天にってんとつながります。まさに、車の安全祈願に一番ふさわしい神社です。



車神社の社紋

平成二十八年度地域活動交付金事業
ふるさと遺産を保存する会
八名郷土史会